



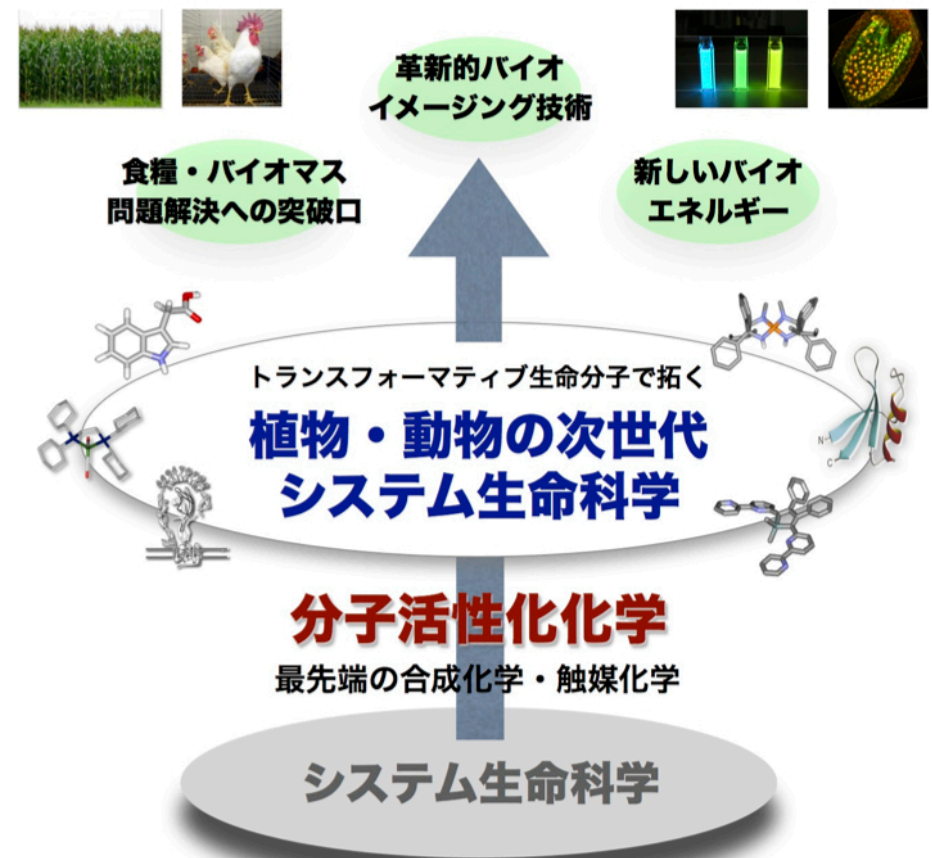
トランスフォーマティブ 生命分子研究所（名古屋大学）

本拠点のゴールは、生命科学・技術を根底から変える革新的機能分子
「**トランスフォーマティブ生命分子**」を生み出すことである。

本拠点のユニークなアプローチは、世界屈指の
合成化学（分子活性化化学）と分子設計学によ
って、**植物・動物の次世代システム生命科学**を
拓く鍵分子を合成することである。

本拠点のアイデンティティは、「精緻にデザイ
ンされた機能をもつ全く新しいシンセティック生
命分子」を生み出せることにある。

期待される成果は、化学と生物学の境界領域で、
現代の重要課題を解決するシンセティック生命分
子が数多く生み出されることである。これにより、
食糧・バイオマス問題、イメージング技術、新し
いバイオエネルギー等へのイノベーションが期待
される。



拠点長

伊丹 健一郎（いたみ けんいちろう）

名古屋大学 大学院理学研究科物質理学専攻 教授



生年月日 1971 年 4 月 4 日生（41 歳）

学歴・職歴

1994 年 京都大学 工学部 合成化学科 卒業（生越久靖 教授）
1996 年 京都大学 大学院工学研究科 合成・生物化学専攻 修士課程 修了（伊藤嘉彦 教授）
1998 年 京都大学 大学院工学研究科 合成・生物化学専攻 博士後期課程 修了（伊藤嘉彦教授）
1996~1998 年 日本学術振興会 特別研究員
1997~1998 年 スウェーデン・ウプサラ大学留学（Jan-E. Bäckvall 教授）
1998~2005 年 京都大学 大学院工学研究科 合成・生物化学専攻 助手（吉田潤一 教授）
2005~2008 年 名古屋大学 物質科学国際研究センター 助教授・准教授（野依良治 特別教授）
2005~2009 年 科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 さきがけ研究員
2008 年~ 名古屋大学 大学院理学研究科物質理学専攻 教授

受賞・栄誉

2013 年 Novartis Chemistry Lectureship Award
2013 年 Mukaiyama Award
2012 年 Fellow of the Royal Society of Chemistry, UK
2012 年 German Innovation Award “Gottfried Wagener Prize 2012”
2012 年 Novartis-MIT Lecturer in Organic Chemistry (Massachusetts Institute of Technology, USA)
2011 年 ACP Lectureship Award, China
2011 年 ACP Lectureship Award, Malaysia
2011 年 野副記念奨励賞
2011 年 Overseas Distinguished Professor of Wuhan University, China
2008 年 Merck-Banyu Lectureship Award
2007 年 Banyu Young Chemist Award
2006 年 文部科学大臣表彰 若手科学者賞
2005 年 Mitsui Chemicals Catalysis Science Award of Encouragement
2005 年 日本化学会 進歩賞
2004 年 Thieme Journals Award
2000 年 有機合成化学協会 研究企画賞

学術雑誌の編集

2008 年~ *Canadian Journal of Chemistry* 誌（カナダ化学会） Editorial Advisory Board
2010 年~ *Organic & Biomolecular Chemistry* 誌（英国王立化学会） Editorial Board
2012 年~ *Beilstein Journal of Organic Chemistry* 誌 Associate Editor
2012 年~ *ChemCatChem* 誌 International Advisory Board

専門：化学、合成化学、触媒科学、薬理活性分子、ナノカーボン化学

実績：論文 155 報、h-index 37、m-index 2.1

基調講演・招待講演：過去 6 年間で 125 件（64 英語、61 日本語）

研究がテレビ・ラジオ・新聞・雑誌等で取り上げられた回数：過去 5 年間で 70 回以上



トランスフォーマティブ生命分子研究所 (名古屋大学)

合成化学 - 植物科学 / 動物科学 - 理論科学

拠点長



伊丹健一郎 (41)

(合成化学、触媒化学、
生物活性物質)

副拠点長



東山哲也 (41)

(植物科学、細胞生物学、
ライブイメージング)



吉村崇 (42)

(動物分子生理学、
内分泌学)



Jeffrey Bode (38)

スイス連邦工科大学
(合成化学、ペプチド)



山口茂弘 (43)

(構造有機化学、
分子設計)



Cathleen Crudden (46)

クイーンズ大学
(材料化学、有機金属化学)

分子で世界を変える



鳥居啓子 (46)

ワシントン大学
(植物発生遺伝学)



大井貴史 (47)

(有機合成化学、
分子認識化学)



木下俊則 (44)

(植物分子生理学、
シグナル伝達)



Stephan Irle (45)

(量子化学、
分子シミュレーション)